

平成28年度大槌町心の復興事業採択事業一覧

NO	事業名	団体名	代表者	事業の目的・概要	交付決定額
1	色彩の広場セラピー塾プロジェクト	東日本支援 チーム・アートdeセラビー	川村 久子	色彩の持つセラピー効果を利用したワークショップによるメンタルケアを行います。①「みんなで色彩セラピー」：町内の人たちが参加しやすい会場を選び、誰でも参加できる色彩に親しむワークショップを「巡回」します。これは、「色彩セラピー塾」に向けたイベントも兼ねる。質問・相談などのフリーク、塾の告知や、参加申し込み受けなども実施。②「色彩セラピー塾」全3回。色彩表現が感情の動きと深く結びついていることから、色彩を使って手仕事、塗り絵、5感ワーク、お茶を楽しむマナー&カラー、メイクアップ講習、思い出の色彩探し等毎回メニューを変え楽しいワークを行います。最終回は終了証を発行します。	¥743,000
2	おおつち・ダンスプロジェクト	株式会社アルグループ	大木 ゆう子	こどもから高齢者・お身体の不自由な方で幅広く共通に楽しめるダンスや音楽を使って世代間・コミュニティをつなぐまちづくりを目指す。身体を動かすこと・楽器の演奏・歌を歌うことなどによって心身の健康増進を図るとともに町民同士の交流の場の創出やいきがいづくりにつながっていくことを目的とする。	¥836,000
3	みんなで作ろう だれもが安心して暮らせる 未来に希望をもてる大槌町!!	有限会社ウィルビー	志村 尚一	(目的)東日本大震災から5年が経過、いまだに約1500戸の 応急仮設住宅で多くの被災者が避難生活を送っています。また災害公営住宅への移行にともなう、被災者の心身のケア・新しいコミュニティの形成が求められています。若者や子供の人口がどんどん減少している中で、このままでは10年後の大槌町は衰退してしまいます。本事業では、明るい未来を切り拓く、住民が主体となった地域づくりに向けた担い手を育成し、だれもが安心して暮らせる、支え合い助け合いの地域をつくるため、心身のケアをおこないながら、地域住民が一体となってコミュニティ再生の構築を目的に実施するものです。(概要)本事業は町内において次の事業を実施します。①地域人材養成講座 ②地域住民いきいき交流会	¥1,019,000
4	大槌町における生涯健康の推進事業	特定非営利活動法人ソーシャルハーツ	川上 誠	大槌町において、高齢者を対象に、東北大学加齢医学研究所とNPO法人ソーシャルハーツが連携して、生涯健康推進事業として、認知トレーニング、運動、趣味活動の促進などの活動を行い、高齢者の認知機能維持に貢献すると共に、地域コミュニティの活性化により促進する。具体的には、NPO法人ソーシャルハーツがこれまで行ってきた地域の高齢者を対象とした認知トレーニングに加え、東北大学加齢医学研究所等の研究成果である趣味やコミュニケーションが認知症予防に重要であることを加味した活動を展開する。	¥1,195,000
5	三陸プレーメン音楽隊	三陸プレーメン企画合同企画	島田 香織	生の音楽をきっかけとし、リフレッシュの時間・ストレス発散の場、また普段とは違う切り口での住民同士の交流の場の提供することを目的とする。具体的には、東京から音楽家・ダンス振付師を誘致し、仮設団地または地域のコミュニティスペースにて演奏会やダンス教室を行う。ただ音楽を聴くのではなく、歌声喫茶風に生演奏で住民の方に歌ってもらうことや、楽器を実際に手にしてもらい演奏することで、より積極的に音楽に触れてもらう機会を提供し、本会終了後、お茶会を開催することで、より積極的に楽器に触れてもらえるように質疑応答等をざくばらんに行う機会を設ける。	¥1,052,000
6	おおつちハートフルカレッジ	Tsubomi	村上 彩乃	当事業では、ここ大槌町で町民がいきいきと自分らしく生活でき、自分自身と町の未来について明るい希望がもてる復興まちづくりを目的とする。①ボイストレーニングスクールでは、「声を出す」ということで自分を解放していき、心身のバランスを整え、他者との人間関係構築の円滑化にアプローチする。②語学学習in大槌では、外国語を楽しく学ぶことで視野を広げ、町の将来について多角的に考え、行動できる担い手の育成に貢献する。	¥1,003,000
7	「刺し子」を通じた生きがい創出支援と持続可能なコミュニティづくり事業	認定NPO法人 テラ・ルネッサンス	小川 真吾	本事業では、手しごとの「刺し子」を通じて、作り手らの生きがいを創出し、参加者同士の継続的なつながりの場を提供することにより、持続可能なコミュニティを形成・維持することを目的とする。応急仮設住宅及び災害公営住宅居住者、独居の中高年齢女性を含む方々を対象に、手しごとの「刺し子」による心の復興と生きがいの創出を図る。また、定期的に集まれる場を提供することで、高齢の被災者の孤立を防ぎ、持続可能なコミュニティを形成・維持を目指す。	¥908,000
8	町民主体のハンドメイドショップを通じた交流機会の創出と提供プロジェクト	菜々色の会	藤原 百合子	町民による手作りを集めたハンドメイドショップを町内唯一のショッピングセンター内に構えています。町民同士の交流の場としてはもちろんのこと、町外からのボランティアと町民を繋ぐ場として、また大槌の様々な情報や魅力発信の場として活動してきました。このショップ機能を更に高めるために、町民による手作りのワークショップの開催やそれらの作品展等の開催を通して、町内の「手作り」をキーワードにしたコミュニティをつつとまとめる役割を果たすことを目的とし、町民同士の新たな交流の創出を図り、「手作りコミュニティ」を活性化させる役割を担ってまいります。	¥1,150,000
9	大槌町高齢者生涯学習、他世代間交流、そして社会貢献推進事業	特定非営利活動法人ソーシャルハーツ	川上 誠	ひとり暮らしの高齢者を対象に、「学ぶ喜び」「交わる楽しさ」「人のために幸せ」による生きがいづくり、「心の復興」高齢者自立支援促進事業を目的とする。事業内容としては、高齢者などの支援センター、仮設住宅、災害公営住宅などの集会場に於いて、生涯学習の一環として継続的な「シニアハーツ教室」と日本国内外の大学生との「多世代間交流会」に加え、高齢者の手創り品を海外の恵まれない子どもたちに寄付することによる社会貢献活動も合わせて推進します。	¥1,204,000
10	足湯、お茶っ提供による大槌町民の心の復興支援及びコミュニティ円滑化支援事業	どこでも足湯隊	塩谷 ケリー	大槌町で暮らす人々のストレス解消及びコミュニティ円滑化により心の復旧を目的とする。事業内容は、たらいにお湯をくんで、足湯を提供することで大槌町の方々に心身ともにリラックスして頂く。同時にお茶っ提供も提供し、大槌町の方々のコミュニティの円滑化を支援します。また、大槌町のみならずのつづやきを傾聴することで、「寝てない、食ってない、風呂にはいってない」などの命の危険信号を事前に察知し、大槌町関係者と情報共有を行うことで包括的な被災者健康維持管理に役立ちたいと考えています。開催場所は、仮設住宅や復興支援住宅を中心にしますが、障がい者サポートセンターやショッピングセンターなどの施設でも開催し、大槌町の幅広い方々の心の復興を支援致します。	¥1,199,000
11	大槌シネマキャラバンみんなの上映会	三陸プレーメン企画合同企画	島田 香織	映画館まで足を運べない町民に映画館に近い環境で鑑賞してもらい、普段抑え込んでいる感情をおもてに出すことで心身のバランスを整え健康に寄与する。上映後のお茶っの会では町民同士のコミュニケーションが広がり、休職中のサークル活動の復活や新たなイベントの創出につながるといった効果が期待できる。映画を通してできたつながりから生きがいをを感じるきっかけとなることも考えられる。今後、既存の公民館などを活用し定期的に上映会を開催していくことで、住民主体のコミュニティづくりを促し地域活性化につなげ、将来的にはフィルムコミッションを検討する足掛かりとし、近隣市町及び県外からの集客を見込むことで交流人口拡大の可能性も広がる。	¥977,000
12	被災地における心のケアと見守り事業	特定非営利活動法人サンガ岩手	吉田 茉莉子	現在サンガ岩手は岩手県大槌町に被災者のためのコミュニティスペース「手作り工房おおつち」を開設している。今回の助成ではここでのケア事業を行う。大槌工房内にこころのケアの専門スタッフを常時配置する事でもの作り活動を通して被災地での仲間作り、生きがいづくりを促し、地域のコミュニティ形成とこころの復興を目的とした活動を行う。	¥889,000
13	海の賑わい再生プロジェクト	はまぎく若旦那会	芳賀 光	震災によって失われた海とのふれあいの場を取り戻すために、「砂の芸術祭」および「吉里吉里海岸映画祭」を行い、被災者の交流の場を生み、海の賑わいの再生を目指します。事業内容としては、吉里吉里海岸で3年連続で開催している砂の芸術祭を今年も開催します。また、昨年、初開催をした吉里吉里海岸映画祭を今年も開催します。一連の事業実施において、多くの仮設住宅などに住む方々が参加できるよう、運営体制を工夫して行います。	¥1,531,000
14	地域資源の活用による住民力の再構築と地域支えあい活動の推進事業	NPO法人つどい	岩間 秀夫	震災がもたらした分断された地域のつながりや、孤独、高齢化を伴う既存の地域課題に対して、地域住民のつながり構築、地域支えあいの一端を担い、包括的地域の形成を被災地域のまちづくりの担い手である住民力を高め、手段として、地域資源の視覚化や再認識する住民活動をサポートしていく活動として、いざば会議形式(フォーカスグループディスカッション) 体験型形式(体験を含む交流会やイベント)のように、住民参加の活動とそれら地域資源や住民活動を視覚化し発信していく事を行う。世代を超えつながる仕組み、住民力を高めたいための自信や自主防災・支えあいの向上や郷土愛の醸成を図る。	¥1,634,000
15	安渡町内会コミュニティ再構築事業	安渡町内会	佐々木 慶一	【目的】「地域住民や新たに立地する企業が「世代や立場を越えて集まる機会をつくり、住宅再建や災害公営住宅の入居を控えた住民が心配なく地域に居るようなコミュニティの形成を目指す。」「子育て環境の向上のために地域ぐるみでできることの検討を行い、地域や子育て世代(=若い世代)のつながりを作ること」【概要】祭りや郷土芸能の復活をきっかけとしたコミュニティ再生の取り組みや、地域の子育て環境のあり方勉強会を行う。	¥1,494,000

NO	事業名	団体名	代表者	事業の目的・概要	交付決定額
16	元気いっぱい「明日の吉里吉里」住民プロジェクト	吉里吉里公民館運営委員会	芳賀 衛	【目的】「地域のつながりを再構築するために自治組織が中心となって住民が集まる機会を創出する。」「ボランティアや復興事業で地域に関わった方々にも集まってもらい、住民と支援者との交流を図る。」「子ども達の被災によるストレスを発散し、自然の中でのびのびと活動できる機会を提供する。」「自治組織の将来的な担い手として地域の若者を育成する。」 【概要】運動会、サマーキャンプ、花いっぱい運動、青年塾、等の多様な地域活動を行う。	¥1,494,000
17	大槌町花と緑のまちづくり事業	NPO法人Green Fields	吉川 三枝子	大槌町の景観を官民協働により形成していく中で、町の風景とコミュニティの再生を図ることを目的とする。事業内容は、災害公営住宅や集会所など今後の住宅再建にあわせ地域の拠点となる場所を設定し、花緑をキーワードとして住民参加を呼び掛け、町の風景と地域コミュニティの形成を図るものである。事業は花と緑の普及啓発活動等のソフト的な施策を、大槌と連携し、交流拠点整備助成等のハード的な施策と連動して実施する。	¥1,199,000
18	大槌バイパス花壇コミュニティガーデン整備事業	おおちゃん花くらぶ	阿部 智子	今年4月に町民有志により発足した「おおちゃん花くらぶ」は、花と緑で心の絆が深まることを願い活動をスタートしました。特に高齢女性たちは集会所等に移り新たなコミュニティが求められる中、過去と未来のコミュニティを繋ぐ場所が心の復興にも必要と思われます。今後、花壇作りなど多くの町民が参加できる花と緑の活動を通して、心の拠り所となる「コミュニティガーデン」を目指しています。誰もが気軽に参加でき楽しく役立つものになるように、また広い活動範囲を有効に植栽できるよう専門家を招きノウハウを学ぶ講座と子供達との花育を通じ、他の見本になるような花壇の継続した活動を目的とします。	¥648,000
19	手仕事を通じた高齢者地域間交流と生きがいづくり	おおつちおばちゃんくらぶ	川原畑 洋子	仮設住宅や公営住宅、自立再建された自宅などへ入居など住民の居住地域はまだまだ落ち着いた状況にありません。特に高齢女性たちは集会所等で集まり手仕事をすることで、慣れない地域での暮らしのサポートを互いに行っていました。本事業では、集会所等において手芸・ものづくりのサロンや教室を開催します。これまでの手仕事における生きがいづくりを通じ、住民同士のサポート関係の継続・生きがいづくりを生み出していきます。さらに、手仕事(コミュニティビジネス)としてさらに発展させていくことを進めています。	¥1,250,000
20	はた織りを通じた心のケアと自立支援事業	三陸さをプロジェクト	西館 さつき	三陸沿岸地域では、昔から養蚕業が盛んな土地柄、高齢者(60代後半～70代前半)は自分の親族がはた織りをしてのを見ており、はた織りに関して興味を持っている方・実体験がある方が多く、織り体験会では各会とも盛況であった。このようなことにより、今年度よりはた織り(さを織り)の勉強会を本格的に継続していきたい。はた織りを1つのきっかけとして、引きこもりがちな高齢者に働きかけ、地域のコミュニティ再生を図り、心のケアと震災からの自立支援・地域活性化を目的として行う。事業概要として、町内の仮設住宅集会所や公共施設での織物、それらを加工した小物を作りイベントや道の駅、ボランティアベースなどの販売を行う。また東北の文化でもある「お茶っこ」を取り入れた情報交換・地域交流を行う。	¥501,000
21	おおつちまるごと売り場プロジェクト	株式会社邑計画事務所	寺井 良夫	【目的】震災後、各種支援団体等の活動により、被災者の居場所づくりや外出促進の観点から「手作りグッズ」の製作・販売が行われ、現在も多くの被災者の心の拠り所となっている。また、工場や商店の再建に伴い従来からの商品生産に加え、特産品の開発も多くなり詰まれているところである。しかし、開店の経過に伴い当町を訪れる観光客等の伸びは期待できず、事業を継続・拡大するためには販路の拡大が必要であるが、個々の団体や小規模商店単体での取り組みにはコストや労力面での限界がある。そこで、各種団体の情報を有する事務局が商品・製品をとりまとめ、「外」に販路を見出す取り組みの試行を行うもの。 【概要】取りまとめた商品・製品をワゴン車等に積載し、当町へ職員派遣を行ったことがある首都圏・東北管内の市町村、企業CSRの取り組みで被災地支援を掲げる企業、ボランティア活動等と連携関係にある大学等を積極的に訪問し販売を展開する。また、同様の形態で、県内各地で行われるイベントやお祭り、各地の道の駅での出店、催事場等での物産展にも参加し、販売に掛かるコストと売上の調査を行い、ビジネスとして持続的な展開の可能性を模索するもの。	¥1,139,000
22	子ども夢ハウス冒険遊び場づくり事業	社会福祉法人 夢のみずうみ村 子ども夢ハウスおおつち	岡田 雄三	震災後、親を亡くしたり、ストレスを抱える子供たちの心のケア、居場所を作ろうと「子ども夢ハウス」を開所した。外に遊び場がない現状に、仮設住宅で1日ゲームに没頭する子どもが外でのびのびと遊べるよう、子ども達、保護者、有志で作上げた「すずきす公園」が完成。しかし復興事業の影響を受け、撤去した。子どもたちは「すずきす公園」を再興してほしいと願う。公園を作り上げる過程で、親子で一緒に作り上げる喜びや達成感を創出。子どもたちは思い切り体を動かせる遊具で、友達と笑顔で遊ぶ。近所の方も訪れ、コミュニティの場となりながら多くの人達の心の癒し、憩いとなる場所を目指す。	¥1,420,000
23	子育て親世代と祖父母世代交流事業	ままりば	小川 麻里子	子育て世代の親たちが気軽に相談したり、情報共有をする場所が必要。地域住民の月一回のイベントを通して多世代交流をする。【ままりば】利用者の方々には子育てに追われ、就労のためのスキルアップに時間を割くことが難しい。といえ、住宅再建や子育てに必要な資金を少しでも得たいと思っている。利用者が空いた時間で資金を調達出来る様、手仕事を考えている。このことにより子育て親の手助けを行いたい。県内の大学や専門学校、企業等にも参画していただき、若手県内の沿岸被災地を支える仕組みづくりを目指す。	¥1,200,000
24	大槌町地域こどもサポート事業	特定非営利活動法人ワークスコープ 大槌地域福祉事業所	藤田 徹	大槌町の学齢期の子どもたちは震災を経て、心のケアを必要とする要支援児童が増加している。大槌町は「コミュニティ教育」を掲げ、地域と連携した子育てを推進し対応を進めている。放課後や長期休み等の学外での要支援児童のサポートの場を運営している団体の活動に地域の多様な人材を巻き込み運営の体制を強化すること、また、こども達が地域の大人や自然と触れ合う遊びの機会を作ること、こども達の心のケアに取り組む。	¥772,000
25	大槌町地域支えあいのまちづくり推進事業	おおつち支え合い協議会	佐々木 亮	本事業は担い手を育成する講座と、その講座を受講生と講座終了後に具体的に居場所づくりや生活支援活動をはじめ2本立ての内容となっており、育成した人材がそのまま実践に入り、継続して活動することをターゲットとする流れを作る。 活動の頻度としては、年2回の講座の開催を行う。うち一回は居場所づくりを目的としたもの、もう一回は生活支援を目的としたものとする。それぞれの講座終了後には、居場所づくりは月1回のサロン活動が受講生中心に開催されるようにサポートする。生活支援サービスも講座終了後には実際に活動を始め。そのために、講座開始前に出口を明確にしてからスタートできるように準備をしっかりと行う。	¥58,000
26	宮沢賢治文化を通じた心のケアと拡大コミュニティ形成	ベルガーディア鯨山	佐々木 格	【目的】郷土にゆかりのある宮沢賢治の文学や世界観に親しむことをとおして被災した方々の心のケアに取り組むとともに、全国各地の賢治ファンと被災地との交流をとおして宮沢賢治文学を軸とした拡大コミュニティの形成を目指す。 【概要】「くくなった人との心の対話を促す電話ボックス「風の電話」をとおしたグループ(悲嘆・喪失感)を抱えた人の心のケア、「森の図書館」での宮沢賢治に関連するコンサートや幻燈会をとおした豊かな感性の再生や地域コミュニティの活性化、宮沢賢治の詩碑建立を契機とする広域連携や拡大コミュニティの形成に取り組むものである。	¥1,063,000
27	交流人口拡大を通じて行う地域活性化と震災の風化防止	一般社団法人おらが大槌夢広場	臼沢 和行	交流人口の拡大を通じて、高齢者を中心とした地域コミュニティの活性化を促し、震災の風化防止を図ることを目的とする。 事業内容は、一般観光客および修学旅行、企業向け研修旅行を誘致することで交流人口を拡大し、高齢者を主とした既存コミュニティ(各地区自治会等)と誘致団体との交流・運営を協働で行うことで新しい関係性の構築や高齢者の生きがいづくりに寄与するものである。同時に、被災者の生の声にふれる機会を創出することで、震災の風化を防止するものである。	¥1,102,000
28	大槌町の今を発信！全町民情報発信事業	一般社団法人KAI OTSUCHI	叢岩 彩乃	東日本大震災から5年が経過し記憶の風化が進んでる中、この状況を打開するために「大槌応援サイト」を活用し、町民自らが大槌町の現在の様子を発信していただけるように、町内各所に情報発信教室を開催する。震災の記憶の風化防止だけでなく、大槌町の魅力発信にもなり、交流人口の拡大へつながる。また、町外への情報発信だけでなく町内の町民同士の情報発信に繋がり、地域コミュニティの活性化や、普段触れ合うことのない年代の交流にも発展する事が出来る。	¥795,000

29,475,000